延岡の大人はみな
子どもたちの先生
延岡市キャリア教育支援センター

「よのなか教室」通信

延岡市キャリア教育支援センター通信 89 号　令和6年 12 月 16 日 (月)

文責 / 酒井　康行

岡富中学校（3 年生・109 名）よのなか教室「延岡の未来プラン学級発表会」

令和6年9月20日(金)　13:35~15:25

岡富中学校の 3 年生が、11 月に行われる「岡中楠の葉祭～実施済み」に向けて、学級毎の発表会を実施しました。楠の葉祭では、各学年の代表がこれまでの学習で調べたことを中心に発表しますが、3 年生では、事前に学級毎の審査を行い、各学級 1 位と 2 位のグループが、楠の葉祭でのステージ発表を行います。審査には、3 年生がこれまで「よのなか教室」で講話をしていただいた 3 名の講師の方にもお出でいただきました。審査員の方は、

岡田　明利さん（岡田花店　代表取締役）＜1 組＞
細川　真由美さん（みやざき若者サポートステーション　キャリアコンサルタント）＜2 組＞
山根　俊輔さん（山根製作所　代表、建築家）＜3 組＞の方々です。

各学級 8 ～ 9 班の発表がありましたが、どの班も甲乙つけがたい内容でした。審査員の方々には、各班の発表毎に質問や講評をしていただきました。審査員の方の講評を聞き、子どもたちは、自分たちが調べてきたことに自信をもち、満足した表情を浮かべていました。また、審査員の方からの質問に対して、しっかりと受け答えしている子どもたちを見て、熱心に調べ学習に取り組んだことがよく分かりました。

延岡の未来の産業や人口減少への対策など、是非、延岡市や地域の方々に提言してほしいと思いました。

【岡田　明利さん】

【細川　真由美さん】

【山根　俊輔さん】

南小学校（1 年生・103 名）よのなか教室「金堂ヶ池のお話を聞こう」

令和6年10月18日(金)
10:00~10:30

【稲田　義美さん】

南小学校の 1 年生が、秋の遠足で「金堂ヶ池」に行きました。その際、池の散策をする前に、金堂ヶ池の広さや池に生息する生き物などについてお話を聞こうということで、**稲田　義美さん（金堂ヶ池を美しくする会・会長）**に説明をしていただきました。

稲田さんは、池の周囲の距離や池に生息する生き物などについて、資料を用いて詳しくお話をしてくださいました。資料は、稲田さんの手作りで、池の周囲の地図や写真などが用いられており、とても分かりやすかったです。「コガタノゲンゴロウ」「ニホンスッポン」「「アメリカザリガニ」「ホタテアオイ」など、生き物に関心のある子どもたちは、説明を聞きながら歓声をあげていました。

説明の最後に、稲田さんが、「池にすむ生物のために池を大切にしてほしい。池にゴミを投げ込んだりよごしたりしないでほしい。」と語り掛けられ、子どもたちも、環境に対する意識が高まったようです。

小雨模様の天気でしたが、金堂ヶ池到着時には雨も上がり、子どもたちは、熱心に説明を聞いたり、散策を楽しんだりしていました。

【稲田さん手作りの資料】

【お話を聞く子どもたち】

南小学校（4 年生・114 名） よのなか教室「私たちが住むまちの歴史を訪ねてみよう」

令和6年10月15日(火)　10:20～11:05

【宮田　卓郎さん】

【講話を聞く子どもたち】

南小学校の４年生が、「私たちが住むまちの歴史を訪ねてみよう！」というテーマでお話を聞きました。講師は、**宮田　卓郎さん（延岡市社会教育指導員）**です。

社会科で「ふるさと延岡」のことを学習している子どもたちにとって、宮田さんの講話は大変興味深いものでした。今回は、「岩熊井堰」についてのお話でしたが、「岩熊井堰はどこにあるのか」「岩熊井堰はいつできたのか」「どんな工事だったのか」など、質問を交えてお話を進められたので、子どもたちも関心をもって授業に臨んでいました。延岡市に広がる水田の様子については、昔と現在の写真を見て、子どもたちは、その違いについて考えました。

また、川と土地の高さに着目し、「川よりも高さが高い土地にどのように水を流すのか」という問いに、子どもたちは真剣に考えていました。古い写真や宮田さん自作の説明図は大変分かりやすく、「岩熊井堰」を知る貴重な時間になりました。

宮田さんは、講話の最後に「岩熊井堰を完成させるための工事は順調に進んだのか今後の学習で調べてみましょう」という質問を子どもたちに提示されました。今回の講話を受けて、子どもたちがどのように学習を進めていくのか楽しみです。

令和６年度　中山間地エリア会議　令和6年10月21日(月)　9:40～15:20

本年度の「中山間地エリア会議」が、諸塚村の諸塚中学校で行われました。今回は、諸塚中学校の生徒を対象にしたひなた場の参観や、対話を通じて地域づくりや将来を担う人材の育成に資するという目的で実施されましたが、諸塚村内外から人づくり・地域づくりの関係者が一堂に会して会議が行われたことは大変意義があったと思います。

【人生対話】

【人生紙芝居】

午前中に実施された「ひなた場」では、26 名の生徒が 9 班（1 班 3 名）に分かれ、人生対話と人生紙芝居を体験しました。人生対話では、地域の大人の方々のお話に、子どもたちが「うん、うん」と頷きながら聞き入り、楽しそうに対話している様子がとても印象に残りました。人生紙芝居は、3 名の講師の方が、手作りの紙芝居でご自身の経験や大切にしている言葉などを語られましたが、子どもたちにとっては、将来を考える貴重な機会になりました。

【パネルディスカッションの様子】

午後は、パネルディスカッションとグループトークが実施されました。どちらも「中山間地だからできること」というテーマで意見交換が行われましたが、自然や産業、食べ物など、中山間地ならではの取組のアイデアも紹介され、大変意義のある時間になりました。

パネラーで、諸塚に移住されてきた方の「地域の方々がとても温かく、すぐに打ち解けられる」という言葉が印象に残ったエリア会議でした。

延岡市キャリア教育支援センター

〒882-0053　宮崎県延岡市幸町３丁目 101 番地 延岡駅西口街区ビル３階　延岡商工会議所内

電話 0982-33-6666　FAX 0982-33-6682

水永正憲　080-4002-8167　mizmas228@gmail.com

敷石輝幸　080-6410-5539　sate815@ma.wainet.ne.jp

酒井康行　090-2587-7837　y351akre@ma.wainet.ne.jp